

伊勢のごせんぐう



前夜祭 全国各地からのお祭り踊り連と観客を交えた「総踊り」(サンアリーナ)



祭のまつり 勾玉池奉納舞台会場、大通り奉納会場での踊り披露(外宮前)

十月十四日・十五日・十六日
かんなめほうしゅくさい
神嘗奉祝祭「祭のまつり」
ありがとうございます

日本の祭りが、日本の心が今年も伊勢に集まりました

伊勢の秋の恒例行事となった神嘗奉祝祭。全国からは著名なお祭り等19団体が伊勢に集い、踊りや演舞などを披露。これを目当てに県外から毎回訪れるという観光客も少なくありません。今年も晴天に恵まれ、サンアリーナでの前夜祭、外宮前大通りをメイン会場とした外宮の神嘗奉祝祭本番。10万人を集客する大盛況の2日間となりました。

賑やかに清々しく神嘗祭を奉祝できました。ご参加、ご協力、そしてご協賛いただいたみなさまに感謝申し上げます。

伊勢のお木曳車(奉曳車)
しやりんざい
車輪材の展示

お木曳・お白石持の陸曳で用いられる奉曳車の車輪となる原木を、近鉄宇治山田駅構内に展示しています。

平成28年12月～平成29年5月(予定)

お木曳の奉曳車の車輪材に使用される原木を、市民はもとより多くの観光客が行き来する近鉄宇治山田駅1階待合所に展示しています。

これは伊勢市内の方だけでなく伊勢神宮にご参拝される観光客に、神領民が伝統を守り、誇りと崇敬の念をもつて続けてきたお木曳行事・お白石持ち行事・初穂曳などをご紹介します。企画として実施します。

独特の技術を伝承する車

伊勢の民俗行事に使われる奉曳車は550年を越える歴史に裏付けされた独特の構造をしています。また、車は、市内の各団がそれぞれ所有しており、この車輪と車軸の摩擦により鳴る音は「わん鳴り」といわれ、行事の際の陸曳の見どころのひとつとして伝承されています。いわゆる祭りの山車とは違い、重い物を運ぶことを目

南アフリカの大木が伊勢へ

新しい奉曳車を作るとき、かつては日本各地から材質の硬い広葉樹の大木を探し求めていましたが、現在ではこのような大木は国内では入手できないため、今では地球規模での調達が必要となっています。

そこで車輪材として第61回御遷宮の頃から現在も使用されているのが、南アフリカ原産のブビンガという木です。非常に硬い木であり、高い耐摩耗

性や強度を持つだけでなく、外観的にも重厚で、色彩的にも独特の美しさがあるため大変魅力的な木材だといわれています。

平成28年10月15日に行われた初穂曳では、この新しい木と金物で作られた車輪の奉曳車(写真上)が初披露され、お初穂の奉納が行われました。

今回展示する原木は、車輪に切断された片端で直径180センチメートル。その大きさに驚かれる方も多いかと思えます。ぜひ宇治山田駅へお立ち寄りの際は、実物をご覧ください。次の世代を担う子どもたちにその大きさを覚えてもらい、伊勢の歴史や民俗行事について、お話ししていただければと思います。



展示の様子

初穂曳

伊勢の民俗行事を伝承するために

第45回目を迎えた初穂曳。秋晴れの好天に恵まれ、15日、外宮領陸曳では、お木曳・お白石持の荷締め技術を伝えるべく、3台の奉曳車それぞれの車にお木・樽そして米俵が積まれ、お初穂が飾られました。伊勢市民や皇學館大学生、田植えから参加した子どもたち、県内外の特別神領民など、約1600名が「エンヤ」のかけ声で車を曳き、外宮へとお初穂を奉納、参拝致しました。

16日の内宮領では、四郷地区が運行を担当して川曳を開催。宇治橋から内宮を訪れた多くの観光客が見守る中、内宮神域へと曳きこまれました。



初穂曳(陸曳)



初穂曳(川曳)



宇治奉献団



桜が丘木遣り衆



常磐西世古翠紅社



小川町勢勇団



河崎六ヶ町



馬瀬町



二見浦茶屋木遣保存会



楠部町



宮町



浦口町お木曳保存会



船江神習組



八日市場町篤友会



黒瀬町橋栄社



荘心會



伊勢古市木遣り保存会



常磐第一



神社港辰組木遣り部



一之木町須原団



曾祢町木遣り保存会



豊栄会



今一色区自治会



ご鎮座二〇二〇年を迎えた伊勢神宮。平成28年9月25日、その奉祝行事として、御遷宮に関する伝統ある民俗行事「お木曳、お白石持行事」を継承する神領地の31団の木遣り有志が、参集殿の舞台で個性豊かな木遣りを披露しました。今回の企画は、伊勢の民俗行事を次世代に伝えていく継続的な事業のひとつです。団によっては2025年から始まる次の「お木曳」を担う子どもたちの木遣りを披露するところもあり、練習を重ね、微笑ましくも頼もしい姿を見せてくれました。写真でもお分かりのように団ごとに唄の節回し、衣裳、演出などに違いがあり、それぞれの特徴を一度に聴き比べることができ、伊勢の木遣りを再認識する貴重な機会となりました。また当日は、多くの参拝者が参集殿に立ち寄っていただき、伊勢の文化に触れていただくこともできました。



宮後町



岡本町江楓会



徳川山



前山町養命団



小俣町奉曳車保存会木遣り部



通町青年部



岩渕青瀧会



中島豊流団



宮沼連合



新開木遣り保存会



内宮参集殿

内宮ご鎮座二〇二〇年奉祝行事
奉祝 伊勢木遣り
 伊勢神宮内宮ご鎮座二〇二〇年をお祝いし、
 内宮参集殿能舞台において、
 神領地の三十一団が木遣りを奉納披露しました。



伊勢御遷宮委員会役員による参拝